

5 月中旬から果樹類でカメムシ類の加害が発生しています。一般的な薬剤防除については下記を参考にしてください。尚、地域によっては効果が著しく低下している薬剤もありますのでご注意ください。

カメムシ類は、他の害虫と異なり山林等の外部から飛来し、果樹園に侵入し加害するので、薬剤散布だけでは完全な防除は出来ません。薬剤散布及び補殺を複合して防除を進めてください。詳しくは園芸技術課担当までお問い合わせください。

1. 発生時期

・ クサギカメムシ

年 1 回の発生。建物の隙間・樹の粗皮下・屋外に積まれた木材やワラの下等で成虫態で越冬する。5 月中下旬頃から各種の植物に産卵し、7 月中下旬頃から第一世代成虫が羽化する。9 月中旬頃に越冬場所に移動する。体色は黒色。

・ チャバネアオカメムシ

年 1～2 回の発生。落葉下で成虫態で越冬する。4 月に入ると、越冬場所を脱出し、エサとなる各種の植物を移り渡る。リンゴ・ナシ・柿・もも・ぶどう等の多くの果樹類を加害する。果樹園外の多くの植物で繁殖し、成虫が果樹園に飛来する。主な繁殖植物はヒノキと杉である。

2. 発生しやすい条件

- ① 越冬場所に隣接した園
- ② 雑木林に隣接した園
- ③ 越冬量が多い年
- ④ 雑木林に餌が不足する年

3. 登録薬剤

薬剤名	農薬の種類	使用基準	倍率
ダントツ水溶剤	ネオニコチノイド	前日・3 回	2,000～4,000
モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	前日・3 回	2,000～4,000
バリアード顆粒水和剤	ネオニコチノイド	前日・3 回	2,000～4,000
アルバリン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	前日・3 回	2,000
アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド	3 日前・2 回	5,000
テルスターフロアブル	合成ピレスロイド	前日・2 回	3,000
イカズチWDG	合成ピレスロイド	前日・2 回	1,500
スミチオン水和剤 40	有機リン	30 日前・3 回	1,000
スプラサイド水和剤	有機リン	30 日前・2 回	1,500

- ◆ 上記は代表的な登録薬剤です。定期散布に混用するか、特別散布にて対応してください。アブラムシ類の併殺をする場合は、ネオニコチノイド系の使用をお奨めします。